

京丹後市総合計画・基本計画の体系

将来像と基本理念

基本方針

計画項目

ひと みず みどり
歴史と文化が織りなす交流のまち

地域力

豊かな自然や歴史・文化の恵みを活かし、世界に誇れるまちづくりをめざします

安心力

ともに支え合い、安心して暮らせる健康・福祉のまちづくりをめざします

活性力

ひとが育ち、夢がふくらみ、未来に飛躍するまちづくりをめざします

ひと・もの・ことが行き交う
交流経済都市

暮らしの中でのちが輝く
環境循環都市

生きる喜びを共有できる
健やか安心都市

次代を担う若い力が活躍できる
生涯学習都市

共に築き、結び合う
パートナーシップ都市

災害に強く、快適で暮らしやすい
うるおい安全都市

計画推進のために

たごいんら・ものんら・まのんら・交流の先進地
新・丹後王国の創造に向けて

定住の促進
農林業の振興
漁業・海業の振興
商工業の振興
観光の振興
京丹後ブランドの販売戦略

自然環境の保全と創造
新しいエネルギーの導入と活用
ごみ・廃棄物対策
循環型社会の構築

市民主体の健康づくりの推進
医療保険制度の一層の充実
患者本位の医療体制の充実
支えあい、助けあいの地域福祉の推進
共に生きる障害者福祉の充実
安心して暮らせる高齢者福祉の充実

子育ての支援
学校教育の充実
若者の育成
社会教育・スポーツの充実
歴史文化遺産の保全と活用

地域コミュニティの強化
協働と共創のまちづくりの推進
人権の尊重
男女共同参画の推進
国際交流と地域間交流の推進
文化芸術活動の振興

適正な土地利用の推進
道路ネットワークの整備
河川・海岸・港湾の整備
住宅の供給と安心できる住環境の整備
地域交通の確保
上下水道の整備
防犯・交通安全の推進
消防・防災体制の強化
地域情報化の推進

効率的な行財政運営の推進

平成22年度の主な仕事を紹介します

5つの柱で掲載しました事業も総合計画の項目別に再掲しています

I ひと・もの・ことが行き交う 交流経済都市

にぎわい創出プロジェクト構想

1 定住の促進

京丹後の魅力を発信し定住促進へ

■京丹後ふるさと応援団運営事業
【総務費】(継続) 219万円
(企画総務部 企画政策課)

京丹後市の魅力を全国に発信し、交流人口の増加と本市への移住の促進を図るため、「京丹後ふるさと応援団」を組織して、地域の発展に向けた応援活動をしていただける人々の輪を全国に広げています。また、団員の中から「京丹後ふるさと応援大使」を委嘱し、本市をPRする特製名刺を配布するなど全国各地で京丹後の魅力発信の取り組みを行っています。

今年度は、京阪神地域で「団員交流会」を予定しています。

- 入団資格 京丹後市以外に在住のかた
- 入 団 費 年 1,000 円
- 特 典 年 4 回の会報誌送付、市内協賛店での優待特典など



京丹後市をPRする特製名刺

■空き家情報バンク運営事業
【総務費】(継続) 5万円
(企画総務部 企画政策課)

市内の宅地建物取引業者と連携し、平成22年1月から運営している「京丹後市定住空き家情報バンク」では、市内の空き家などの情報を集め、賃借や購入を希望するかたに対してインターネット上で提供しています。

市では、市内の空き家などの有効活用を通じた移住を促進するため、空き家情報バンクをPRするパンフレットを作成し、田舎ぐらしを希望するかたなどに広く配付します。

HPアドレス <http://www.tango-wave.jp/link/akiya.phtml>



京丹後市空き家情報バンク制度パンフレット

■水と緑の里活性化推進事業
【総務費】(継続) 23万円
(企画総務部 企画政策課)

過疎・高齢化が進む集落などで構成する「百歳長寿京丹後市水と緑の里連絡会」(平成20年8月設立)において、集落などの活性化に向けた体制づくりを目的に事例勉強会を実施するとともに、本市が加盟する「全国水源の里連絡協議会」と連携して活動し、市内の集落および地域の活性化を推進します。



集落活性化事例勉強会